

国語科学習指導案

令和2年10月 第5学年 指導者 高木 理恵子

1 単元名 「世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう」

2 学習指導要領上の位置付け

- | |
|--|
| (1) 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。
【知識及び技能 (2) 情報の扱い方に関する事項ア】 |
| (2) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
【思考力、判断力、表現力等B書くこと (1) オ】 |
| (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養うこと。
【学びに向かう力、人間性等】 |

3 目標

尾瀬の自然保護について考え、意見文を書く学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。

ア 意見文を書くために、様々な情報から原因と結果を結び付けて捉え、理解すること。
(知識及び技能)

イ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、意見文を整えること。
(思考力、判断力、表現力等)

ウ 積極的に相手や目的、内容に合わせた構成を考え、今までの学習を生かして相手が納得するかどうか留意して文章を書こうとする態度を養うこと。
(学びに向かう力、人間性等)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（7/11）

(1) ねらい

文章を読み返し、自分が言いたいことが表現できているかを考え、よりよい文章にするための修正点を見付けることができるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）>
1 単元の学習計画を基に、前時の復習をする。	4分	◎推敲のポイントが思い出せるように、研究メモ「原稿用紙の使い方・構成・文章表現・引用の仕方」について学習したことを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">[めあて] 意見文をよりよい文章にするために、直すところを見付けよう。</div>
2 ペアで意見文を交換し、推敲のポイントをもとに、友達の意見文を読み、疑問点や分かりにくいところを指摘する。 ・何が言いたいのか、はっきり分からない。 ・一文が長くて読みにくいな。 ・資料から考えられる根拠が分かりにくいな。 ・どうしてここを指摘したのか聞いてみよう。	15分	○文章を最後までチェックできるよう、修正案は考えさせず、ペアで交流をするときにお互いの考えを伝え合う時間があることを予告しておく。 ○誤字は本人に調べさせることとする。 ○一つ一つの言葉や文に気を付けて読み返すよう促す。 ○見付けた疑問点や分かりにくいところは、青で記入させ、本人の記述と区別できるようにする。 ○友達の意見文を推敲できない児童は、早くできたペアに手伝ってもらいながら一緒に考えさせる。
3 「2」のペアで青の記入について自分の意図や相手の考えを伝え合い、修正するところを決定する。 ・〇〇さんは何を言いたかったの？ ・ここは…ということをや言いたかったけど分かりにくいかな。 ・この漢字習ったよ。	20分	○読み手は書き手の考えを聞き、書き手が伝えたいことが伝わるかを判断基準に交流させ、修正するところが決定したら赤線を引かせる。 ○限られた時間で文章全体をチェックできるよう、本時は修正するところを決定し、実際の書き直しは次時の学習活動であることを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">文章全体の構成や書き表し方などに着目して、意見文がよりよい文になるよう、修正点を見付けることができる。 <作文ノート（思）〔記〕></div> ○決定した修正点を発表し合い、児童それぞれの次時のめあてを共有させる。
4 本時で何を学んだか（何ができるようになったか）、どのように学んだのか（どうしたらできたのか）、困ったことや、更に学習したいことを振り返る。	6分	○板書やノートを基に本時の学習を振り返り、めあてと照らし合わせて自分の言葉でまとめさせる。 ○今まで学んだこととのつながりや、新しく学んだことを自覚している児童を数名発表させ、前時や次時のつながりを大切にする意識を育てる。

6 板書計画

<p>【振り返り】</p> <p>何を学んだか・どのようにしたらできたか</p> <p>・困ったこと・さらに学びたいこと</p>	<p>青字の入れ方や、赤線の入れ方を例示するときに使う原稿。(第六時で使用したもの)</p>				<p>児童の研究メモの拡大図</p>	<p>⑥</p> <p>意見文をよりよい文章にするために直すところを見付けよう。</p>
--	--	--	--	--	--------------------	--

7 次時の展開 (8/11)

(1) ねらい

文章を読み返し、自分が言いたいことが表現できているか考え、困ったことを相談しながら、よりよい文章に直し、意見文を仕上げられるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て
1 前時の振り返りから、困っていることとして挙げられた内容例を知り、本時の相談会の見通しをもつ。 ・今日は相談会を開く日だ。 ・文章表現は指摘されなかったけど、自分の意見文は大丈夫かな。	5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">評価項目<方法（観点）></div> ○前時の振り返りに書かれていた困ったことを幾つか紹介することで、本時の相談会で解決すべきことのイメージをつかませる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">【めあて】 文章全体や資料を見返して、より分かりやすい意見文に整えよう。</div>		
2 相談会の進め方の例として、一人の児童の事例を基にみんなで話し合う。 ・「もっと詳しく」って指摘されているから、どう直したらよいか付け足す言葉を一緒に考えてあげよう。	10分	◎前時の振り返りの「困ったこと」から、本時の相談会で解決すべき事例を取り上げ、相談会のイメージを具体化し、目的をもって参加できるようにする。 ○一文にこだわって考えるが、前後の文の流れを意識し、書き手が伝えたい内容になっているか気を付けるように促す。 ○直した文章が、書き手の意図と合っているか確認する。

<p>3 自分の意見文を見直し、分からないことを相談し合う。(相談会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと詳しく書ける場所は無いだろうか。探してみよう。 ・この文で伝わるかな。友達に聞いてみよう。 <p>4 指摘されたこと(青)や直すと決めたところ(赤)を意識して、清書をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなに見てもらったから、分かりやすい意見文になった。丁寧に清書だ。 	<p>25分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○隣同士に限らず、自分が相談したい友達のところに行き、困っていることや不安なことを相談する。 ○気付いたことはアドバイスし合うように促す。 ○解決し終えた児童から清書に移るが、友達が相談に来たときは、一緒に考えることを指示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>文章全体の構成や書き表し方などに着目して、意見文をよりよい文に直し、清書している。 <原稿用紙(思)〔記〕></p> </div>
<p>5 本時で何を学んだか(何ができるようになったか)、どのように学んだのか(どうしたらできたのか)、困ったことや、更に学習したいことを振り返る。</p>	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○板書やノートを基に本時の学習を振り返り、めあてと照らし合わせて自分の言葉でまとめさせる。 ○今まで学んだこととのつながりや、新しく学んだことを自覚している児童を数名発表させ、前時や次時のつながりを大切にする意識を育てる。

指導計画 国語科 第5学年 単元名「世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう」(全11時間計画)

目標	尾瀬の自然保護について考え、意見文を書く学習活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 ア 意見文を書くために、様々な情報から原因と結果を結び付けて捉え、理解すること。(知識及び技能) イ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、意見文を整えること。(思考力、判断力、表現力等) ウ 積極的に相手や目的、内容に合わせた構成を考え、今までの学習を生かして相手が納得するかどうかについて留意して文章を書こうとする態度を養うこと。(学びに向かう力、人間性等)		
評価規準	(1) 様々な情報の中から原因と結果の関係を見出し、結び付けて捉えることができる。(知識・技能) (2) 資料の文や言葉を引用したり、表やグラフなどを用いたりし、自分の考えが伝わるように文や文章を整えることができる。(思考力・判断力・表現力等) (3) 自分の考えをもち、参考となる文章や資料などを活用しながら構成を考え、考えが伝わる意見文の書き方について学んだことを他の場面で生かそうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)		
過程	時間	○ねらい めあて	・振り返り(意識) 評価項目 〈方法(観点)〉
つかむ	1	○校内に掲示する尾瀬の自然保護活動についての意見文を書くために、学習計画を話し合い、学習活動の見直しをもたせる。 意見文を書けるようになるために、学習計画を立てよう。	・意見文を書き上げるための計画を作ることができたので計画通りに勉強して意見文をしっかり書けるようになりたい。 ・学習計画を立てる話し合いで、意見文を書くために積極的に発言したり、ノートに記述したりしている。〈ノート・発言(3)〉
追究する	1	○白神山地について書かれた文章から、豊かな自然を守るための方法を読み取る活動を通して、意見文に必要な内容(共存、規制、その他の手段)に気付かせる。 白神山地の自然保護の方法から尾瀬にいかせることを探そう。	・自然を守るには、色々な方法があることが分かりました。尾瀬はどのような活動をしているのか気になった。 ・意見文に必要な内容を見つけている。〈ノート・発言(1)〉
	1	○尾瀬をよくすることについて考え、根拠となる資料と結び付ける活動を通して、自分の立場を明らかにし、意見文に書きたい考えを明確にもてるようにする。 自分の立場を決め、資料を根拠に自分の意見をもとう。	・いろいろな資料から、尾瀬の自然保護のためにどうしたらよいか自分の考えをもつことができた。 ・根拠となる情報に基づいて自分の考えをもつことができています。〈ノート・発言(1)〉
	1	○自分の考えを伝えるために追加で必要な資料を集め、自分の考えを深めさせる。 自分の意見に説得力が増す資料を集め、根拠として使える情報を探そう。	・調べてみたら、自分の意見に説得力が増す資料が見つかった。これを使ってよい意見文が書けそうだ。 ・意見文に活かす資料を選んだり、メモしたりすることができています。〈ノート(1)〉
	1	○意見文の基本的な構成を考える活動を通して、自分の意見を効果的に伝える構成を組み立て、意見文を書けるようにする。 相手に分かりやすい自分の意見文の構成を考え、意見文を書こう。	・意見文を書くことができたが、次の推敲でもっとよい意見文にしたい。 ・根拠を明らかにして、意見文を書くことができています。〈作文ノート(3)〉
	2	○文章をよくする視点を見付け、そのポイントごとに「研究メモ」を作り、発表を聞き合う活動を通して、友達の見直し準備をする。 「文章をよくするポイント」を分担して研究しみんなに教えてあげよう。	・「研究メモ」を読んで、みんなの説明を聞いたなら、どこをチェックしたらよいか分かってきた。次はそれを活かして意見文をよくしたい。 ・文章をよくする視点について追究し、「研究メモ」を作ることができています。〈発言・研究メモ(3)〉
	1	○文章を読み返し、自分が言いたいことが表現できているかを考え、よりよい文章にするための修正点を見付けることができるようにする。 意見文をよりよい文章にするために、直すところを見付けよう。	・「研究メモ」を使って意見文を直すことができた。友達に読んでもらったなら、自分が気付かなかったところを指摘されたのもっとよく考えたいと思った。 ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、意見文がよりよい文になるよう、修正点を見付けることができています。〈作文ノート(2)[記]〉

	1	<p>○文章を読み返し、自分が言いたいことが表現できているか考え、困ったことを相談しながら、よりよい文章に直し、意見文を仕上げられるようにする。</p> <p>文章全体や資料を見返して、より分かりやすい意見文に整えよう。(清書)</p>	<p>・友達にアドバイスをしてもらったので、よりよい意見文に直すことができた。</p>	<p>・文章全体の構成や書き出し方などに着目して、意見文をよりよい文章に直し、清書している。 〈作文ノート(2)[記]〉</p>
	1	<p>○班での発表会で意見文を聞く活動を通して、友達のよい文章表現や資料の使い方を学ぶ。その根拠を基に、代表を選出する。</p> <p>友達の意見文のよいところを探し、校内に掲示する代表作を選ぼう。</p>	<p>・△さんの意見文は資料から分かることがとても分かりやすかったので、自分の意見文も分かりやすく書き直したくなった。</p>	<p>・友達の意見文を聞いて、よいところに気付いている。 〈振り返りカード・発言(3)〉</p>
まとめ	1	<p>○単元全体を振り返る活動を通して、学んだことを教科外でも活かせるようにする。</p> <p>単元全体を振り返って、学んだことをいかせる場面を考えよう。</p>	<p>・意見文を書く時に気を付けることが分かったので、学級会で話し合う時など、説得力のある伝え方ができそう。</p>	<p>・単元で学習したことを、他の場面に活かそうとしている。〈振り返りカード・発言(3)〉</p>